



大阪公立大学大学教育だより No.3

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 大阪公立大学高等教育研究開発センター 公開日: 2025-03-28 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/10466/0002002748



RDHE 2025.3 No.3

Center for Research and Development in Higher Education

大阪公立大学高等教育研究開発センター

杉本キャンパス 〒558-8585 大阪市住吉区杉本3-3-138 (杉本キャンパス全学共通教育棟5F)
中百舌鳥キャンパス 〒599-8531 堺市中区学園町1番1号 (中百舌鳥キャンパスB3棟215)

本冊子および前身の冊子は下記のURL・QRコードで読めます

<https://www.omu.ac.jp/las/highedu/publication/rdhe/index.html>



ロゴデザイン：吉谷ひかり



T N O C

大学教育だより No.3

Voice ~学生の声	他学部の専門分野を知って学びを深めよう! 1-3 経済学部と獣医学部の学生交流と座談会
Campus Inquiry	学生の皆さんの学びが深まるよう、より良い教育に取り組んでいます! 4-7 法学部・法学研究科/工学部・工学研究科/ 医学部リハビリテーション学科・リハビリテーション学研究科/都市経営研究科
OMU Education & FD News	もっともっと学びが楽しくなる! 多様な学びのステップアップをお手伝いします 8 OMUラーニングセンターの支援内容や自主学修教材のご紹介 学部・学域などを超えて、大学全体で教育の充実に向けた取り組みを行っています! 9
アン ロゾ (Un roseau) No.3	「大学で学ぶ意義や面白さ」について語っていただいています!

• 新ヶ江 章友 先生 (国際基幹教育機構・教授) • 桑原 希世子 先生 (国際基幹教育機構・准教授)



総合大学で出会う多様な学問の世界。
他学部の専門分野を知って自分の学びを深めよう!

Voice ~学生の声 経済学部と獣医学部の学生交流と座談会

新入生の皆さんはご自身の学部で専門分野を学ぶことに大きな期待があると思います。上級生の皆さんは、実際に専門分野の知識や経験を深めていることでしょう。しかし、総合大学である大阪公立大学での学びは、専門性の追求だけではありません。他の専門分野を知ることで、自分の視野を広げ、異なる角度から物事を考える力を養うことができます。

今回の企画では、経済学部と獣医学部の学生が学びの共通点や相違点からお互いに学ぶため、2024年9月26日(木)に、りんくうキャンパスで経済学部の模擬授業(経済史に関する教員のミニ講義と学生のプレゼンテーション)、獣医学部の施設見学を行い、普段の授業や学びについて知る機会を設けた後、座談会を行いました。

座談会には経済学部の学生5名(4年生2名、3年生3名)、獣医学部の学生5名(5年生3名、2年生2名)が参加しました。高等教育研究開発センターからは飯吉弘子先生、深野政之先生、橋本智也先生に加わっていただきました。座談会の司会は経済学部、獣医学部それぞれの学生が担当しました。

※参加学生は、学年によって所属大学(旧大阪市立大学、旧大阪府立大学、大阪公立大学)が異なりますが、本記事では大阪公立大学として表記しています。また、座談会の中で、旧大阪市立大学、旧大阪府立大学に言及しているところは、原則として大阪公立大学として表記しています。

模擬授業や施設見学、普段の学びについて

【獣:A】 経済学って日常から離れたようなことを扱ってる学問だと思ってましたが、普段の生活に結びついていたことも対象にしているって知ることができてよかったです。

【獣:B】 経済学部ってお金のことを扱うイメージしかなかったので、模擬授業のプレゼンで歴史の話が出てきて最初はびっくりしました。歴史は苦手なんですけど、断片的



に知っていた話がつながって行って、面白かったです。

【獣:C】私の学年(2年生)だと、座学の授業で知識をとにかくたくさん覚えな
いといけないんですけど、経済学部は模擬授業を見せてもらって、知識を覚
えるだけじゃなくて、知識を使って歴史を理解することがメインに
なっていて、すごく新鮮でした。

【獣:D】経済学部って範囲が広いんですね。

【経:E】数学をたくさん使うような、みなさんがイメージする
経済学部っぽい授業もちろんあるんですけど、今日はゼミ
でやってる経済史をテーマにしてプレゼンをさせてもらい
ました(発表タイトル「居留地時代の競馬場」)。

【獣:C】今日の座談会のために調べて準備してくれましたか。

【経:E】はい。夏休み中に論文や書籍を調べて、その内容をまとめて、
今日の発表内容を完成させました。

【獣:C】獣医学と経済学、経済史の接点って意外なテーマで、すごく興味
深かったです。競馬の観点から経済の歴史を見るって考えたこともなくて、新
鮮でした。

【経:E】獣医学部だったら動物に関心があるだろうと思って。頑張った甲斐が
ありました。(笑)

【獣:B】経済学部の人って授業で学んだことを活かしてNISAとかやってるイメ
ージがあります。

【経:F】ファイナンシャルプランの授業とか、野村證券さん提供の授業とかはあ
るけど、実際に株式や投資信託を熱心にしてる人はあまり聞かないかも。学
生なので、そういうのに回すお金がないというのもあるけど。(笑)

【経:E】経済学部には、もちろん経済を分析する授業はあるんですけど、現実
の経済って複雑過ぎるので、シンプルにモデル化することが多いです。金利を
上げたから経済にこういう影響が予想されるみたいな。実際の株価の細
かな動きは様々な要素に左右されるので、シンプルモデルだけでは扱いき
れないところがあるかなと思います。

【獣:B】経済学部の人たちはお昼食べながら「この銘柄いいよ」とか「今これ
が熱い」とか話してるのかと。

【経:G】どちらかというと、そういうのは経済学部じゃなくて商学部かな。

【経:F】そうかも。経済学部というのは基礎か応用かで言ったら基礎系。商学
部はどちらかというと応用系で、実践にどう生かすかみたいな。獣医学部だと、
基礎と応用の両方あるとは思いますが、実際に治療したりするので応用系に
近いのかも。

【経:H】獣医学部って経済学部と比べると、カリキュラムが決まってる必修が
多いイメージがあります。

【獣:D】そうですね。専門科目だと必修が多いので、みんなほとんど同じ授業
を取るようになります。1学年が40人くらいなので、高校のクラスみたいな感じ
ですね。

【経:G】必修科目が多いということは、単位落とせないプレッシャーがすごそう。

【獣:B】定期試験の前に先生から「この実習落としたり留年やで」って脅され
たことがあります。(笑)

【獣:A】経済学部は選択科目の一覧の中から関心のあるものを選んで感じですか。

【経:F】そうですね。

【経:I】さきほど獣医学部の実験室を案内していただいたときに、ここでは動物
を扱うと仰ってましたが、実験ってどういう感じなんですか。例えば、手術みた
いに血がたくさん飛び散るとか…。

【獣:J】事前にきちんと習ってから実習をするので、血がたくさん飛び散るよう
な扱いはしないですね。あと、授業で手術はしないけど、手術だったとしても
血がたくさん飛び散ってたら駄目です。(笑)

【獣:A】実験といっても必ずしも切るわけではないので、例えば薬物を投与した
マウスの血液を採って、鎮痛効果があるかを調べたりもします。

【経:E】人間の病院だと外科医とか内科医とか複数の専門医に分かれています
よね。獣医師の方って、ひとりでいろんな分野を診るんですか。

【獣:J】町の動物病院だと基本的には何でも診ることが多いです。先ほど見学
してもらった大阪公立大学の獣医臨床センターのような大学の動物病院だと、
内科、外科、整形外科、腫瘍科、放射線科とかいろいろな専門に分かれます。

【経:I】専門分野それぞれに資格があるんですか。

【獣:J】はい。基礎として国家資格の獣医師免許があって、その上でそれぞ
れの専門に関する資格が別にあります。いろんな学会や団体が認定医や専
門医の資格の試験をやってますね。

【経:E】獣医学部って手先が器用でないといけないんでしょうか。

【獣:J】診療や手術でいろんな手技が必要になりますが、器具の扱い方とか、
これはこのように使わなければいけないって決まっています。練習すれば絶対
みんなできるようになるとは思いますし、そういうのが手技だと私は思っています。

【経:E】獣医学部のみなさんから、動物に関連したエピソードを聞
いてみたいです。

【獣:B】僕が好き生き物で、何回切っても再生するプラ
ナリアって生き物がいるんですけど、川とか適当に探
したら絶対いるんです。で、高校生のときにそいつら
を集めるために、毎週土曜日の朝9時から12時まで川へ入
ってたんですよ。ひとりで岩をひっくり返して、おる、おらん
みたいなことをやって。そうしていると、岩の色を見ただけで、
いるかどうかわかるようになりました。(笑)

【経:E】生物系YouTuberになれそう。(笑)

【獣:A】動物園や水族館に遊びに行くときは、丸一日ずっと見てたいと思うん
ですけど、獣医学部以外の友達だとなかなか付き合ってくれないです。でも
獣医学部って、自分が好きな動物や魚の前にずっといるみたいな子が多いし、
そういうのは、いいなあって思います。



卒業論文について

【獣:B】経済学部だと卒業論文のテーマはいつ頃決めるんですか。

【経:F】3年生でゼミの配属が決まってから、先生と相談して決めていくとい
う感じですね。

【経:E】獣医学部は卒論のテーマをどのように決めるんですか。

【獣:D】研究室によって違いますが、基本的には、その研究室の教授の研
究に関連するものって感じですね。

【経:G】獣医学部は卒論だけでなく、国家資格の試験もあって大変そう。

【獣:D】卒論発表会が12月、国家試験が2月なんで、確かに大変です。(笑)

【経:H】経済学部も、獣医学部みたいに卒論のテーマは先生の研究の一部
みたいなことになるんですか。

【経:F】うちの経済史研究のゼミだと、テーマの自由度は結構高いです。ゼミ
の先生が経済史の研究をされているので、もちろん経済史をテーマにする人
もいますし、全く違うテーマにする人もいます。他のゼミだと、先生の研究に
関連したテーマにすることが多いとは聞いています。

【獣:D】卒論の準備はどうやって進めていくんですか。

【経:F】うちのゼミは経済学部では結構特殊です。文献を精査して、その文
献の研究資料を使って考察をします。

【経:E】3年生でゼミに配属されて、前期はゼミの先生の研究テーマに沿って
文献を読んだり、自分たちで調べたことを週替わりで発表したりします。後期
からは「合同ゼミ」で行う発表の準備を行います。合同ゼミというのは、「旧
三商大」でつながりがある一橋大学さんのゼミと彭先生のゼミが一緒に行
う発表会のことです。

【飯吉】旧三商大というのは、戦前の旧制大学の大阪商科大学、東京商科大
学、神戸商科大学のことで、それぞれ大阪市立大学、一橋大学、神戸大学
の前身にあたる大学ですね。

【経:F】他のゼミだと、みなさんが経済学部と聞いてイメージするような、デー
タを集めて、統計処理やグラフ作成をするところが多いと思います。

【経:I】経済学部のデータ処理って、どのような方法で行うのでしょうか。

【経:E】例えば、授業で回帰分析という統計分析の練習をしたり、ゼミによ
ってはRというプログラミング言語でより高度な統計分析を行ったりします。いろ
んな分野の先生方がいるのが経済学部の特徴のひとつなので、ゼミの先生によ
って学ぶ内容も異なってくると思います。

【彭】私のように歴史が専門だったり、他には例えば思想研究の先生もいますね。

【経:E】獣医学部にも様々な専門分野の先生がいそうですね。

【獣:D】大阪公立大学の獣医学部は大きく3つの分野に分かれていて(動物
構造機能学、獣医環境科学、獣医臨床科学)、その中でさらに分野が分か

れて、それぞれの専門分野ごとに研究室があります。

学部や研究テーマを選んだ理由について

経済学部の学生の理由

【経:F】 私が経済学部へ入った理由は、幅広く学べるということと、何より就職に有利って聞いたから。(笑)

【経:G】 私は高3のときに経済学部にするか、文学部で歴史をするかで迷ってました。今は経済学部で、しかも歴史を学んでいるので、すごく充実しています。

【経:I】 自分は考えて解く数IA、IIBみたいな数学が好きで、微分とかをひたすら計算する数」みたいな数学はあんまり好きじゃなかったんです。なので、考える数学を使う学部ということで経済学部を選びました。

【経:E】 私は、いろんな分野の人と接点を持てる大学がいいなと思って、それで大きな総合大学で、幅広い分野の人と交流できる大阪公立大学を選びました。大阪公立大学の経済学部の先生は専門分野が多様で、経済学部と聞いて思い浮かぶようなマクロ、ミクロ経済から、統計分析、歴史、福祉の分野を研究されている先生とか、非常にいろいろです。学部選択の決め手は、そういった先生の研究分野の多様性ですね。

獣医学部の学生の理由

【獣:D】 僕は、高校の進路選択のときに行きたい学部がなかった。(笑) 植物とか生き物が好きだったんで、まあ獣医学部に行こうかなみたいな感じで。

【獣:B】 僕は、小2の頃に犬を飼いはじめ、動物病院に行ったときに獣医さんが注射してるのを見て、カッコいいなって思ったのがきっかけです。あと、さっき言った何度でも再生するプラナリアを見て、再生っておもしろいなと。進路選択のときに大阪公立大学にiPS細胞を研究している研究室があって、その先生に憧れたっていうのもあります。

【獣:C】 私は元々、人獣共通感染症(人間と動物の間で共通に感染する病気の総称)の研究がしたいなと思って、大阪公立大学の微生物の研究レベルが高いという理由で大学を選びました。大学では、授業で動物園とか水族館の専属獣医さんの体験に行っただけなんですけど、そのときに動物と向き合ってる感じがしていいなって思って、今は職業をどうしようか迷ってます。大学に入って、研究だけではなく新しい視点を見つけれられてよかったなって思ってます。

【獣:A】 私は、生まれたときには家に犬がいたんですけど、小学校へ入る前に亡くなって。そのときに獣医になりたいって言うらしいです。私自身は全然覚えてないんですけど、影響しているのかもしれない。それと、高校の進路選択のときに、動物園とか水族館が好きだから獣医学部もいいなと思いつつ、本当に獣医学部でいいのか悩んでいました。そんなときに旧府大出身で須磨の水族館の方に進路を相談する機会があって、獣医師を目指すはっきりした理由がなくて進路に迷っているって話したんです。そうしたら、「動物が好きという単純な理由だけでもいいと思うよ」って言ってくださって。その言葉に後押しされて獣医学部に決めました。

【獣:J】 私はシンプルに、私より動物に詳しい人がいることが許せなかったからです。(笑) 私が動物のことを一番知っていたかった。で、動物のプロフェッショナルということで獣医学部を選びました。獣医学部って、ほんとに職域が広がって、ペットのお医者さんにもなれるし、医薬品の研究者や感染症対策を担う公務員にもなれる。自分に合ったことや、やりたいことが見つかるだろうなって思ったのもあります。



今後のキャリアや就職について

【獣:J】 経済学部の方はキャリアについてどう考えているんですか。

【経:E】 私は一般企業で働こうと考えているんですが、経済学部の知識がそのまま仕事に役立つかっていうと、必ずしもそうとは言えないかなと。ただ、授業で学んだプレゼンの準備や発表の仕方、コミュニケーションの経験は仕事をする上でも役に立つと思っています。

【経:H】 僕は、公務員とか一般企業を考えて、公務員であれば経済学部の

授業で学んだことを活かして国税庁とか経済産業省などの仕事に就きたいなと思ってます。一般企業やったら、やっぱり経済の知識使いたいなと思うんで、証券会社とかの企業に就けたらいいなと思って、これから就活頑張るかって感じです。

【経:F】 私は公務員で税関に就職することになりました。税関って、よくイメージされるように、空港で荷物検査をして薬物を見つけたりします。自分の中で格好いいと思ってる職業の道を進んでいきたいなと思っています。

【経:E】 獣医学部の方は、獣医師の免許を取って現場で働く、大学院で研究する、どちらにしようか考えていますか。

【獣:D】 僕は魚が好きなので養殖関係の企業の獣医に関心があります。ただ、現場の臨床も気になってます。養殖業の獣医師については、国が体制整備に力を入れていますし、給与面でもよいと聞いています。臨床については、僕はまだ病院実習を経験してないので、実習で臨床に向いているか見極めたいと思っています。

【獣:B】 僕が大学に入った頃に、飼っていた犬が亡くなって。腫瘍が原因だったんですけど。あだ討ちというか、他のワンちゃん、猫ちゃん、動物が同じようなことにならないような研究をしたくて、大学院でiPS細胞の研究がしたいなと。ただ、獣医師を目指したい気持ちもあって、まだ迷い中です。

【獣:A】 私は獣医師免許を取ったら転職は何とでもなるかなと思っているので、まずは牛を診る大動物臨床に行ってみようかなと。牛以外では、鳥にも興味がありますね。馬も気になるんですけど、新卒採用だとJRAくらいなので、馬を診たくなったら牧場とか探してみようかなとってます。他には動物園や水族館も大変な仕事だとは思ってますけど経験したいです。

【経:G】 獣医学部で公務員だったら、どういう仕事をするんですか。

【獣:D】 屠畜場、牛とかをさばくところですけど、絶対に獣医師がいますね。あとは…。

【獣:A】 動物愛護センターとか動物検疫所。他には家畜保健衛生所とか。鳥インフルエンザの検査や殺処分がニュースになったりしますが、感染症の予防や診断、農家の方への指導などの仕事もあります。



一日を振り返っての感想

【経:I】 りんくうにもキャンパスがあることは知ってたけど、実際に来てみて、こんな立派なキャンパスがあることに驚きました。獣医学部のみなさんがどういことを学んでいるのかも知らなかったんで、今回知ることができてよかったです。

【経:H】 獣医学部の施設を見学させてもらい、カリキュラムも教えてもらって、同じ大学の中でも学部によって学んでる環境や内容がこんなに違うのって驚きました。

【獣:C】 経済学部では2年生の時点でゼミを考え始めてるって聞いて、自分と同じ学年なのにしっかり先のことを考えていてすごいなって思いました。

【獣:A】 経済学部の皆さんから、自分が知りたいことを卒論のテーマに選んでるって話を聞いて、とてもいい刺激になりました。目先の作業に追われて、最近自分が学ぶことを本当に面白いてって思ってたことに気づかされました。自分も頑張ります。(笑)

【飯吉】 最後に、彭先生と東先生からお願いできますか。

【彭】 自身の専門と距離のある分野から刺激を受けると、新たな発見につながることがあります。今回のように異なる学部の交流は非常に重要だと思いますし、みなさんもいろいろな発見があったかと思います。私もたくさん刺激を受けました。これからも、このような交流会を続けていただければと思います。

【東】 他者を知ることは自分を知ることに繋がります。専門分野やキャンパスの違う他学部について、普段どのようなことを学んでいるのか、なぜその分野を選んだのか、今後どうしていきたいのかなど、お互いのことを理解していく姿が大変すばらしかったです。本日は、ご参加いただき本当にありがとうございました。

文責：高等教育研究開発センター兼任研究員 経済学研究科 彭 浩
高等教育研究開発センター兼任研究員 獣医学研究科 東 泰孝

法学部での授業——講義と演習

法学部では大別して法学と政治学を学びますが、それはさらに独自の体系立った内容を持つさまざまな個別の分野に分かれます。とりわけ法学では、憲法以下、民法や刑法をはじめとするわが国で実際に通用している法、いわゆる実定法の学習が中心になりますが、そうした各実定法はそれぞれに相当に異なり、個別に体系立った学習が必要になります。そうした法学部で教育の中心となるのは、オーソドックスな講義です。体系立った知識の伝達には講義形式が最適だからです。講義は大教室で行われることもあり、通常出席をとりません。逆にいえば、出席しているだけで単位が取得できるということもありませんので、受講生は集中して講義内容を聴くことになります。

法学部教育の中心は講義ですが、少人数教育を軽視しているわけではありません。法学部では、講義等で身に付けた法学および政治学の知識を主体的に活用しつつ、自ら問題を発見し、自己の見解を社会に発信できる能力を育成することを教育の目標としています。そうした能力、とりわけ自己の主張を論理的に構成し表現・文章化する能力を培ううえで最適の場は、少人数での議論においてです。こうした観点から法学部では、3・4回生が履修する「専門演習」のほかに、「法政2年次演習」、「外国語演習」などを少人数クラスで提供しています。



▲講義風景

専門演習

「専門演習」(ゼミ)は3回生および4回生に向けて開講されています。法学・政治学のさまざまな学問分野にわたって開講されており、学生は自らの関心に従って選択することができます。定員は原則15名以下で、少数の関心と同じくする学生が集まって、担当教員とのあいだで、また学生相互間で1年を通じて議論することによって切磋琢磨し、より高度な専門性と問題発見能力や発信能力を養います。

専門演習において報告と議論を重ねるなかで、特定のテ

ーマについてさらに深く検討してみたいと感じる学生もいます。そのような学生のために設けられているのが「演習論文」という科目です。学生は、専門演習の担当教員の指導の下、みずからの研究成果を論文形式で執筆することで、調査分析能力や表現能力を養います。執筆された論文は、教員全員が閲覧可能な状態におかれますので、学生も指導する教員も気が抜けません。



▲専門演習(ゼミ)風景

法政2年次演習

法学部における少人数教育は、ながらく1回生を対象とする「基礎演習」と3・4回生を対象とする「専門演習」との2本柱で支えられていました。しかし大学統合後、基幹教育科目に「初年次ゼミナール」が設けられたことに伴い、基礎演習に割くマン・パワーがなくなり、1回生を対象として議論を通じて法学および政治学の基礎の修得と課題発見および発信能力の涵養をめざす少人数科目「基礎演習」は残念ながら廃止せざるをえなくなりました。したがって法学部における少人数教育の場は基本的に、専門演習のほか、英語・ドイツ語・フランス語等の外国語文献の演習形式での講読を行う外国語演習と2回生を対象とする法政2年次演習だけとなっています。法政2年次演習は、外国語演習を除いて少人数科目の提供がない2回生に対して、講義科目の理解を深め、専門演習に向けての準備を段階的に進めるために設けられた科目です。

このほか、法学部には、学生と教員が構成する「法学会」という学術・親睦団体があります。法学会は、裁判所傍聴見学会や大阪税関見学会の主催や各種の学術講演会への支援、さらには教員と学生が同じテーブルを囲み談論する「法学カフェ」の開催などを通じて、法学部における教育をサポートしています。

法学部・法学研究科 教授 野田 昌吾

大学院修了時アンケートによる現状把握と教育・研究の改善

アンケートの背景

大学院工学研究科に所属する大学院生の多くは2025年度までは府立大と市立大の卒業生であり、専攻によっては府立大と市立大出身者が混在します。大学院生の意識を共有することを目的に、工学研究科ではまず2022年度に一期生を対象に入学時アンケートを実施しました。その一期生が2023年度に修了しますので、2023年度末に修了時アンケートを実施しました。2年間の大学院での活動を経た前期博士課程大学院生の能力や研究科に対する評価の変化を明らかにし、それらを研究科内で共有することで今後の教育活動や研究指導に活かすことをアンケートの目的としています。

アンケートの方法

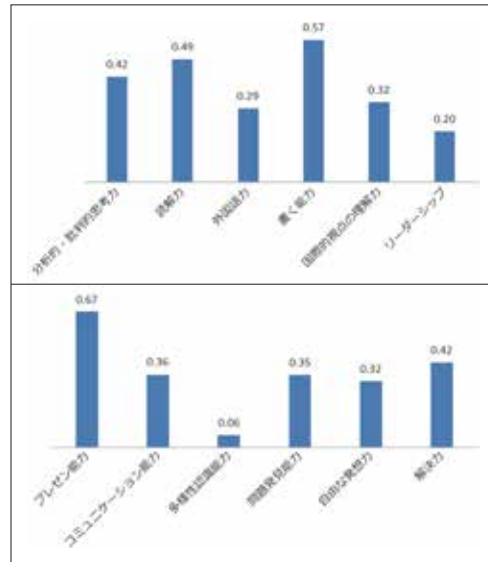
入学時・修了時ともにMS-Formsを利用しました。大学院生の回答には大阪公立大学の個人ID(OMUID)を使用するので、個々の大学院生の入学時と修了時との比較が可能になります。修了時アンケートの主な質問項目は下記の通りです。

- 修了後の進路
- 博士後期課程の経済的支援を知っているか
- 工学研究科に対する評価(専門的な知識や技術を身に付けるための支援など13項目。1~4の数値で評価)
- 今後の博士学位の取得意向
- 海外留学や海外での就職意向
- 前期課程中のグローバルな研究活動
- 身についた能力(分析的・批判的思考力など12項目。1~4の数値で評価)

工学研究科の入学時アンケートでは、「工学研究科に期待すること」、「身につけている能力」を事前に調査しています。修了時アンケートでは入学時からの変化を調査するために、「工学研究科の評価」と「身についた能力」で同じ項目を設定しています。

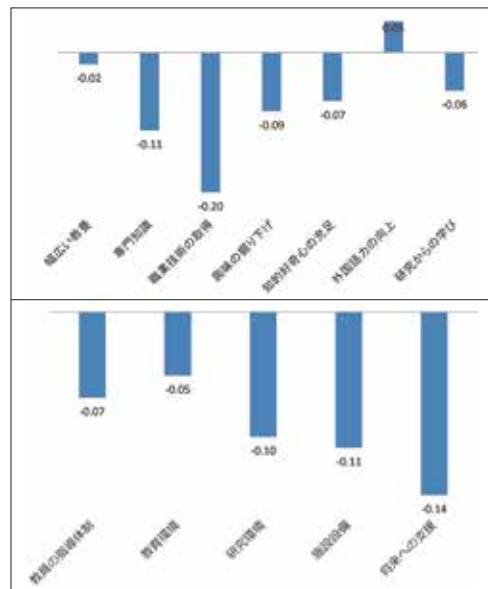
入学時アンケートとの比較

アンケート項目が多岐にわたりますので、ここでは入学時と修了時との比較を絞って報告します。まず、下図は「身についた能力」の変化の工学研究科平均を示しています。入学時および修了時アンケートの両方を回答した大学院生のみを対象としたため、集計に用いたアンケート数は432件となりました。大学院生は各項目を1~4の数値で身についた能力を回答しています。グラフの縦軸は修了時から入学時の数値を減じたもので、値が高い項目ほど修了時の能力向上を感じている大学院生が多いということになります。どの項目も正の数値となっており、修了時の能力向上を大学院生が実感していることが分かりました。特に「プレゼン能力」や「書く能力」が高い値となっています。このような項目の向上は、大学院生が多くの時間を割く学会での発表(+練習)や修士論文執筆を通じて養われたと分析していて、ある程度予想された結果と考えています。



▲ 身についた能力の入学時からの変化

以下のグラフは「工学研究科の評価」の変化の平均値を示しています。縦軸は修了時の評価から入学時の期待を減じたものとなります。能力向上の実感とは矛盾するのですが、多くの項目で負値となっており、大学院生の期待にはまだ十分応えられていない実状が明らかになりました。ただし結果には専攻ごとのばらつきが大きく、多くの項目で正值となる専攻もありました。今後は評価が修了時に向上していた専攻での教育・研究活動を分析し、他専攻と共有することで、工学研究科全体での満足度を向上させるFD活動を実施する予定です。



▲ 工学研究科の評価の入学時からの変化

工学部・工学研究科 教授 兼子 佳久

医学部リハビリテーション学科・リハビリテーション学研究科

医学部リハビリテーション学科（理学療法・作業療法専攻）は、文部科学省の規則に基づき、理学療法士および作業療法士を養成するためのカリキュラムを提供しています。本学科では、保健・医療・福祉の分野において、臨床および研究の場で国際的に活躍できる理学療法士・作業療法士の育成を目指しています。その実現のため、本学科のディプロマポリシーでは以下の目標を掲げています：

- **豊かな人間性**：生命の尊さと人の尊厳を重んじる姿勢。
- **支援する能力**：理学・作業療法学分野の専門知識と技術を基に、疾病予防から心身機能の回復、社会参加を支援する力。
- **連携と調整能力**：他の医療専門職者と連携し、調整役として機能する能力。
- **情報リテラシーとコミュニケーション能力**：地域社会や国際社会への貢献に必要な情報活用能力とコミュニケーション能力。
- **学術的探究の基礎能力**：社会的役割を認識し、果たすための基礎的な学術探究力。

第三者機関による認証評価

リハビリテーション教育の質を保証するため、本学科では5年ごとにリハビリテーション教育評価機構 (<https://jcore.or.jp/>) の外部評価を受け、認証を取得しています。また、作業療法学専攻は、世界作業療法連盟 (WFOT) から認可を受けた、世界基準の作業療法教育を提供する教育機関です。さらに、2024年度からは、部局FD委員会によるリハビリテーション教育の自己評価を毎年実施し、その結果を部局の公式ウェブサイトで公開しています。



3Dプリンターを用いた「装具療法学における3Dプリンターの活用」

近年、医療現場での3Dプリンターの活用が注目を集めています。リハビリテーション分野でも、装具や自助具を3Dプリンターで作成する試みが進んでおり、本学科では



2024年度から3Dプリンターを導入し、専門科目の一環として活用しています。これにより、卒業後のリハビリテーション実践で役立つ技術の習得を目指します。この取り組みは、SDGsの目標「すべての人に健康と福祉を」にも貢献するものです。図には、握力が低下した方のためのペンホルダーや、どこでも使える靴べらが示されています。

患者画像のマスクング動画を用いた、動作分析の試み

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、臨床実習の受け入れが制限され、訪問リハビリテーション実習が困難になるケースが発生しました。こうした影響を最小限に抑えるため、本学科ではリアルタイムモザイク処理技術「Live Masq」（株式会社オークネットIBS）を活用したオンライン臨床実習教育を実施しました。

「LiveMasq」を用いることで、対象者の顔をマスクング処理して個人情報や匿名化した映像をPC画面で視聴できるようにし、訪問型理学療法利用者の自宅内での基本動作や、自宅玄関、屋外、職場内での立つ、座る、歩くなどの日常動作を観察することが可能となりました。オンラインで参加する学生は教室や自宅から臨床場面を見学し、通常の参加型実習に近い体験を得ることができました。この取り組みは現在も継続されています。

臨床実習ポートフォリオシステムの構築に向けて

両専攻における臨床実習は、卒業要件に必要な単位の約2割（23～25単位）を占めており、教育上非常に重要な位置を占めています。臨床実習に先立ち、学生、臨床実習指導者、教員が参加する臨床実習指導者会議を年4回開催し、連携を強化しています。

現在、内部質保証に関するスタートアップ支援事業の一環として、ICTを活用し、学生、臨床実習指導者、教員の3者をリアルタイムでつなぐ臨床実習支援システム（富士フィルムシステムサービス株式会社）を導入し、臨床実習ポートフォリオの構築を進めています。この取り組みは、理学療法士および作業療法士の養成大学として初の試みです。学生が臨床現場で学んだ知識や技術、課題を振り返ることで、臨床教育の質を保証するだけでなく、就職試験での自己アピールや卒業後の教育にも活用されることが期待されています。



リハビリテーション学研究科 研究科長 樋口 由美

社会人に学びの場を提供

都市経営研究科とは

人口減少、少子高齢化、産業空洞化等の流れのもと、都市は、複雑に課題が絡み合う難しい時代に入っており、その再生や活性化が求められています。

都市経営研究科は、「都市のイノベーションとサステナビリティ」をキーコンセプトとし、都市を支える行政、民間企業、NPO、プランナー、医療・福祉団体など主要なセクターに属する方々が、自らの現場において抱えている都市経営の諸課題について、経済・経営・法律・行政学・公共政策等の視点から解決できるよう、その人材養成を図る社会人向けの大学院です。

大学等を卒業し社会人になってから、仕事をする中で新たに学ぶことの必要性を感じている方、これまで学んだことをもっと深く掘り下げたいと感じている方、これまで学んだり経験してきたことを再整理したいと感じている方、新たな知識を身に付け今後の人生に活かしたいと考えている方など、様々な動機により学ぶことに興味をもつ方はたくさんいます。こうした方々が職種・年齢等を超えて集まり、都市政策・地域経済コース、都市行政コース、都市ビジネスコース、医療・福祉イノベーション経営コースの4コースに分かれ、大阪・梅田で平日の夜と土曜日に積極的に学ぶ場となっています。

ワークショップにおける学び

都市経営研究科では、都市の課題や解決策を具体的に学ぶ科目として「ワークショップ」という対話型の授業を週1回実施しています。これは、各分野の第一線で活躍されている実務家や研究者等をゲストスピーカーとしてお招きし、



▲ワークショップの様子

都市では今どのような問題が起き、それに対しどのような取り組みがなされているのか、さらに今後どのような取り組みが必要になるのか等についてご講義をいただき、その上で質疑応答や議論を重ねる場です。

これにより、都市の現場で起きていることを知ると同時に、その問題の本質に深く迫り、多角的に物事を考える力を養っています。

教員・学生共同研究プロジェクトによる自発的な研究

このほか都市経営研究科では、教員と院生と一緒に、都市に関するテーマについて研究を行う「教員・学生共同研究プロジェクト」という取り組みも行っています。

院生からの提案等によりテーマを選定し、それに教員も加わって共同で研究を行うもので、今年度は、アート、PPP（パブリック・プライベート・パートナーシップ、公民連携）、DX、一次産業の新展開、酒蔵、リスケリングなどをテーマとした研究が行われています。



▲教員・学生共同研究プロジェクトにおける現地視察の様子

先行研究をもとに探求する、先行事例について現地視察を行う、といったこと等を通じて得た知見をもとに、院生と教員が議論し、その成果を提言などにまとめており、学生の主体的な研究が実現するものとなっています。

都市経営研究科 教授 佐野 修久

もっともっと
学びが楽しくなる!
多様な学びの
ステップアップを
お手伝いします



OMUラーニングセンターで 学修支援を行っています!



各サポートの情報、
学びのTipsや
ラジオ動画などの
DLはこちらから
一部除き学外の
方にもご覧
いただけます

大阪公立大学では、本学の学生・教員、そして職員のみなさんが、学問を通じて相互に学び合う可能性を拓く起点として、OMUラーニングセンター（教育学修支援室学修支援部門、以下LC）を開設しています。

LCでは特任教員および「LC学生スタッフ※1」が学修相談、教材開発、学びのイベント・セミナーなどの企画・実施・運営を通して、みなさんの学修支援を行っています。対面（前期：杉本キャンパス、後期：森之宮キャンパス予定）・オンライン（全キャンパス・自宅等自由な場所から参加可能）のハイブリッド形式で各種相談を受け付けています。

※1 LCで勤務し、本学の教育活動をサポートする学生を「LC学生スタッフ」と呼んでいます。

学びのことなら
なんでもここへ!

あなたの学びの味方! OMUラーニングセンター

英語をもっとレベルアップしたい! 🦊

英語が苦手...



国際基幹教育機構の英語担当の先生がサポート。自分の**実力・目的に合わせた自習メニュー**を相談でき、継続的なアドバイスをもらえます。また、**毎月**の課題ライティングの添削指導も受けられます。

個別相談の予約はこちら
(または右上のQRコードから)

一人で悩まず、
相談しよう!



大学でどうやって勉強しよう?

レポートのことがわからない...

LC特任教員などの専属のスタッフが**レポートの書き方、プレゼンテーションの方法**、大学での学修相談全般について対応します。(レポートなどの添削は行いません。)また、学びの振り返りや、学修計画の立案を支援します。

数学の質問がしたい!

数学の試験がピンチ

杉本キャンパスの数学研究所特別研究員がサポート。数学学修の相談、**授業の内容の確認、定期試験対策**、つまづいているポイントと一緒に探しその解決方法を相談することが可能。また、毎月の**課題と解説**をMoodleに掲載。理解度チェックに活用してください。数学に関することならなんでもどうぞ!

気軽に参加できる
イベントを
開催しています!

毎週昼休みにレポートのポイント・基本のルールを解説するミニセミナー「ちょこレポ」を開催。また、学生スタッフによるキャンパスツアー、大学でのさまざまな学びについて先輩や先生の経験談を聞く「ウチラ(公大生)の知らない○○の世界」など多様な学修支援イベントを実施。気軽にご参加ください!



自習に役立つ
情報はこちら!



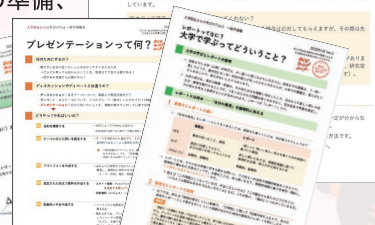
◆ **自主学修教材「学びのTips」**(学内限定公開)
レポートの書き方、プレゼンテーションの仕方、先生への質問の仕方など、自学自習や大学生活に役立つ情報・ポイントをテーマごとにまとめた教材です。数学編もあります。**こちら**から自由にダウンロードして活用してください。(または右上のQRコードから)

◆ **自習スペース**
杉本キャンパスの全学共通教育棟**815教室**の隣にて自習できる場所を提供しています。グループ利用も可。授業の準備、グループワークにもどうぞ。

森之宮キャンパスへの移転後も、
同様の支援を継続する予定です。

先生への質問や相談の仕方

先生に質問や相談をする際は、事前に授業内容を確認し、授業中に質問したいポイントや相談したい内容をメモしてください。授業終了後、先生が授業内容を確認し、質問や相談の時間を設けて対応させていただきます。



学部・学域などを
超えて、大学全体で
教育の充実に向けた
取り組みを
行っています!

教育の充実を目指す 大学全体の取り組みをご紹介します!

高等教育研究開発センターの活動のひとつに全学FDの推進・支援があります。学生や教員の特性と状況・ニーズに合った教育改善や多様なFD活動の全学的な推進と支援を行っています。ここではセンターが2024年度に実施した全学FDの推進・支援活動の一部をご紹介します。また、部局ごとにも教育改善やFDに関する取り組みが活発に行われています。具体的な活動は「Campus Inquiry」(本誌4～7ページ)をご覧ください。

大学の学びについて教職員・学生が 共に考える企画を実施しています!

① 教育改革フォーラム

大学教育をめぐる多様な課題について、大学内外の視点を取り入れながら、大学全体で考えを深めることを目的に開催しています。大阪市立大学で第29回まで実施した教育改革シンポジウムを引き継ぎ、大阪公立大学としての第3回教育改革フォーラムを11月29日(金)に実施しました。全体テーマは「より良い授業のためのインストラクショナルデザイン」とし、学外から根本淳子先生(明治学院大学)に「学習活動と成果の一体化を目指した学びのデザイン」と題してご講演いただきました。また、参加者はご講演内容を踏まえてシラバスを見直す個人ワークを行いました。質疑応答では、目標・評価・教育内容のバランスをとった授業の設計について議論が行われました。



学生の皆さんの学びの実態やニーズを 調査して結果を共有しています!

③ 大学教育研究セミナー

大阪公立大学では、学生の皆さんの学びの実態やニーズを大学全体で定期的に調査し、その結果を共有することで、教育改善などに活用しています。5月31日(金)に実施した「第4回大学教育研究セミナー」では、「OCU指標からみる大阪市立大学学生の学修成果」と題し、旧大阪市立大学で開発・導入していた学修成果の可視化ツールを用いた分析結果を報告しました。大阪公立大学でのOMU指標(仮)の検討開始に向けて、その意義や新たな利活用に関する議論を深めるための機会としていただきました。



② 新任教員FD研修

2024年度の新任の先生方を対象として、大阪公立大学の学生の皆さんがどのように学んでいるのかなどについてご紹介する研修を4月3日(水)に行いました。研修はZoomによる同期型(リアルタイム)と、動画による非同期型(オンデマンド)を組み合わせ実施しました。同期型の研修「授業を育てる」では、実例を交えた研修を通して、本学の学生の皆さんがより良く学べる授業を行うにはどのようにすればよいかを考える機会にいただきました。非同期型の研修では、「本学の教育とFD」、「授業におけるICTの活用」、「データで深める本学の学生についての理解」についての動画・資料を各自視聴していただきました。

④ 全学FD

大阪公立大学では、心と体の健康について、学生が学問的にも学べる機会がいくつも提供されています。9月10日(火)に「本学における健康教育・支援の取組み—学生の健康と成長を支える大学環境づくりを考える—」というテーマで、本学の健康教育・支援の実践や学生の実態について知見と情報を共有し、学生の健康と成長を支える大学環境づくりを考える機会としていただきました。



* FDとは Faculty Development の略で、主に大学教員が教育のあり方などについて議論したり互いに学びあったりする取り組みの総称です。
* このページで紹介しているFD企画や学生調査は、高等教育研究開発センターが実施しています。

高等教育研究開発センターのHPで上記を含む各種催しの動画や資料をご覧ください(学内限定で公開)。
<https://www.omu.ac.jp/las/highedu/fdevent/report2024/index.html>

編集
後記

大阪公立大学の教育広報誌「大学教育だより」と大学での幅広い学びの道しるべ「アン・ロソ」の第3号をそれぞれ発行しました。「大学教育だより」は本学の教育を学内外に広く発信することを目的としています。「アン・ロソ」では新入生の皆さんに向けて、大学で学ぶ意義やおもしろさについて、文系・理系の先生方に語

っていただいています。第3号では、記事を通して各学部・学域の学生さんや、教職員のみなさんの日々の活動や思いが伝わるような紙面になるように心掛けました。総合大学である大阪公立大学の多彩な学びや教育を感じていただけると嬉しく思います。
(橋本)